

名美興業株式会社

本社 〒040-0074 函館市松川町 30-7
TEL0138-41-6623 (代) FAX0138-43-6077

札幌営業所 〒064-0808 札幌市中央区南8条西10 兜ビル 48 2F
TEL011-511-3055 FAX011-511-3057

江差営業所 〒043-0034 桧山郡江差町中歌町 1-3
TEL01395-2-2811

補修センター 〒040-0076 函館市浅野町 5-1
TEL0138-41-8125 FAX0138-41-8211

〈営業種目一覧〉

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------------------|
| 美掃部 | 補修部 | ビル管理部 | |
| ●建築竣工時の清掃 | ●金属塗装部分の補修 | ●日常清掃保守管理 | ●ホテル及びマンションの総合管理 |
| ●リフレッシュ工事 | ●焼付け塗装 | ●定期及び特別清掃 | ●各種施設の常駐警備業務 |
| ●建築作業時の養生 | ●金属部分の防錆塗装 | ●環境衛生保守管理 | ●電話交換及び受付案内等のサービス業務 |
| | | ●機械設備保守管理 | ●人材派遣業務 |

(広告掲載：阿相 義則 会員)

◎ 3月6日出席報告

会 員	55名	出席率対象会員	53名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	40名	当日欠席	11名
他クラブ出席	3名	出席合計	43名
出席率	84.31%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・4月3日 プログラム	「会員卓話」 今井 定一 会員
------------------	--------------------



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ
国際ロータリー会長 リチャード D. キング

人類が私たちの仕事

MANKIND IS OUR BUSINESS

菺下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出逢い・そして感動』



3月20日卓話 加藤 清郎 氏

《第1865回例会》 第35号 3月27日(水)

本日のプログラム

夜間例会「国際ソロプチミスト函館との合同懇親会」
函館国際ホテル 午後6時～

★会長 菺下義晴 ★幹事 藤野明信

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

3月20日の記録

◎司 会 薮下 義晴 会長 ◎斉 唱 我等の生業

◎ビジター 群馬県渋川みどりR.C. 針塚藤重君、函館R.C. 神田勝美君、
函館五稜郭R.C. 南谷正己君

◎会長報告 薮下 義晴 会長

- 3月16日に台北東北R.C. 創立20周年式典が挙行されました。(出席の報告)
- 臨時理事会を行います。
- 高橋 真 会員(札幌銀行函館支店長)3月末退会します。(高橋会員退会挨拶)

◎委員会報告

●副会長報告

小笠原 孝 会長エレクトよりベッツの報告

●国際奉仕委員会 南木 哲雄 副委員長
台北の20周年記念についての報告

◎幹事報告 藤野 明信 幹事

○次週の例会は夜間例会に変更し国際ソロプチミスト函館さんとの合同懇親会
を開催致しますので、多数ご出席くださいますようお願い致します。

○2002~2003年度の副委員長が決定しました。 増田 定雄 副幹事

出 席	阿部 誠太 副委員長	職業分類	中川 洲平 副委員長
クラブ会報	藤田 正男 副委員長	ロータリー情報	松見 修二 副委員長
	栗飯原幸男 副委員長	職業奉仕	調 幸一郎 副委員長
親睦活動	今井 定一 副委員長	社会奉仕	福井 昇 副委員長
	高橋 哲二 副委員長	国際奉仕	川村 宏人 副委員長
雑 誌	久保 幸一 副委員長	財 団	山下 清司 副委員長
会員選考	二葉 進 副委員長	米 山	山下 清司 副委員長
会員増強	高橋 哲二 副委員長	交換学生	山下 宜秀 副委員長
プログラム	調 幸一郎 副委員長	新世代	田畑 収 副委員長
広 報	藤野 明信 副委員長	インターアクト	藤野 明信 副委員長
資料保存	沢田 幸夫 副委員長	クラブ奨学会	野田 義成 副委員長

◎親睦活動委員会 成田 豊 委員長

ニコニコBOX投入報告

加藤清郎氏(ゲストスピーカー)……BOXに協力。

薮下 会長……ゲストスピーカー加藤さんをお迎えして。

台北東北R.C. 20周年行って来ました。

藤野 幹事……台北東北R.C. 20周年行って来ました。

小笠原会員……BOXに協力。

石橋 会員……結婚記念日の花輪もらいました。

二葉 会員……ゲストスピーカー加藤さんをお迎えして。

柴崎 会員……台北東北R.C. 20周年行って来ました。

増田 会員…… ”

川村 会員…… ”

高橋(眞)会員……本日で退会致します。お世話になり有難うございました。

西尾 会員……台北東北R.C. 20周年行って来ました。

北村 会員…… ” 北R.C. 40周年記念の宣伝して来ました。

千葉 会員……台北東北R.C. 20周年行って来ました。

田畑会員……春が来ましたね。

◎新入会員卓話 「ペリー提督来航記念碑について」

建立協議会 会長 加藤 清郎 氏

ペリーの記念碑建立の活動を始めたとき、最初に函館市民がペリーに関してあまり理解がないと言うことを痛切に感じました。今募金活動をしておりますが、それよりもペリーに関しての啓蒙運動をしたいと考えております。ここ2~3年の間にNHKで、色々な番組で折りにふれペリーの名前が出てきています。これはペリーが日本の近代化の中で、重要な位置を占めている、即ちペリーから日本の近代化が始まっていると言う事で、折りにふれペリーの名前が出てくる訳であります。まさにペリーが日本と函館の近代化につながっていると言う事を認識して戴きたいとおもいます。

それと、もうひとつ黒船に対してどちらかと言うと、恫喝とか威圧のイメージをもっている方が多いようです。併しペリーは日本に来るときに、友好的にやろうという事を第一のモットーとしてやってきました。その事から言うなら

黒船とは、日本の、そして函館の文明の曙と言う事を御理解戴きたいと思っております。

ペリー提督のプロフィールを簡単に申しあげますと、1794年東海岸のニューポートと言う街の近くで生まれ、1852年に東印度洋艦隊の司令官に任命され、大統領から親書を渡されて日本に行き、それを幕府に渡して日本を開国させる事、日本近海で漁業をしている船員の休養、遭難の救助、燃料食料等の補給をしてもらう事の交渉をするため、1852年秋に出航し1853年に浦賀に着きました。アメリカでは、開港の候補地として鹿児島、神奈川、浦賀、松前、沖縄の5ヶ所を考えていましたが、紆余曲折の結果下田を開港する事にきまりましたが、更にペリーは松前を求めました。併し松前は重要な所なので、函館を開港することに決めました。

ペリーは下田で和親条約を結び、それから黒船5隻で函館へ向かいました。この事は函館にとって運命的な事でありました。もしペリーが下田で終わって函館に来なかったら、今の様な異国情緒豊かな街として残ったかどうか疑問です。下田から函館まで三日間で来て、錨を函館に下ろしたのが1854年5月17日であります。ペリーは函館に来て友好的な付き合いをしました。

今手許にペリーの銅像の観光案内板の文章があるので、これを要約します。『ペリー提督は「日本遠征記」の中で箱館の第一印象をジブラルタルに似ていると激賞した。18日間におよぶ滞留中に、青空マーケットの特設、箱館近辺の植物86種の採集、銀板写真術の初公開、西洋音楽の初吹奏、カタカナ英語耳学問など、鎖国された人々の耳目を新世界に向けさせた。又松前藩家老との公式会見や夕食会招待など日米の友好親善に尽くした。』

ペリーの黒船ショックにより船大工の続豊治は西洋型帆船「箱館丸」を建造し、オランダ語の通詞で蘭学者の武田斐三郎は黒船を見学した。のち箱館奉行の指示で秀麗なる五稜郭を築造した。まさに函館における西洋文化の先駆けであった。安政4年(1859年)の春、アメリカ貿易事務官ライスが着任し、翌年に日米修好通商条約が結ばれるや、ロシアやイギリスほか各国領事たちが着任し、箱館は国際貿易港として大いに繁栄した。』

それでペリーが来たと言う事で、各外国が函館に目を向けたという大きな事が起こっています。当時の函館の人口は約9400名、戸数は1739戸と書かれています。もしペリーが函館にこなかったら、五稜郭はできなかったでしょう。なぜならペリーが来る事により、幕府は武田三郎を函館に常駐させ、その結果、武田三郎が五稜郭を築城することになったわけです。

また現在元町付近にある、各領事館跡や教会等々が残っているのもペリーが来たおかげで、国際観光都市としての拠点は今でも残っている訳です。もしペリーがこなかったら、単なる補給港や漁港としてしか存在しなかったでしょう。

ペリーが函館に来た時は丁度60才で、その後アメリカへ戻り4年後に没しております。この航海で多分に体力に無理が掛かったものと思われまます。お墓はニューポートにあります。

ペリー建立協議会がなぜできたかという、日米協会としてペリーがいかに日本の近代化翔函館に貢献したかということをもっと函館の人に知って欲しいという事で設立されました。たまたま2004年5月17日がペリー来航150年に当たるので、日米協会としてペリーを顕彰するなにかをしたいという事で動いたところ、先ず函館ロータリークラブが創立67周年事業として、それに続いて北斗ライオンズクラブが創立40周年記念という事で協賛、日米協会と3者でペリー提督建立協議会が昨年4月中旬にできました。

函館にはどの様なペリーのモニュメントがあるかと言いますと大町電停の角に“ペリー提督会見の跡”と書かれた杭があり、外人墓地の中にペリーの艦隊の水兵2名が葬られており、また外人墓地のそばにペリー来航100周年記念の記念碑があります。

ペリーの銅像の除幕式が行われるのは、今年5月17日に予定しており、この時にはアメリカ大使はじめ、内外の関係者の方々にお集まり戴き式を行いたいと思っております。そしてその銅像を通じて函館の歴史を振り返ると同時に、我々としては後世に語り継いで行きたいと思っております。

日米協会としては、2004年の150周年まで、ペリーの銅像を中心として色々な行事を行いながら、ペリーを函館の皆様にご理解して戴きたいと考えております。